

平成29年度 第47回奈良市景観審議会 会議録

開催日時	平成29年7月3日（月）午後3時00分から午後5時00分		
開催場所	奈良市役所 北棟 6階 第21会議室		
出席者	委員	平尾会長、東委員、伊賀委員、北村委員、倉橋委員、鳶川委員、松本委員、室崎委員、山本委員【計9名】（欠席3名）	
	事務局	岡本（都市整備部長） 宮本（都市整備部次長） 荻田（景観課長） 佐々木（景観課長補佐） 立石（文化財課長） 徳岡（奈良町にぎわい課長） 小嶋（景観課） 山口（文化財課）	
開催形態	公開（傍聴 5人）	担当課	都市整備部 景観課 教育委員会 教育総務部 文化財課
議題又は案件	<p>報告案件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬師寺食堂復興事業について 2. 奈良県コンベンション施設等整備事業について <p>諮問案件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「マンション屋上携帯アンテナ設置事業」について（2件） 2. 「携帯アンテナ鉄塔塗替え事業」について 3. 「NHK新奈良放送会館 建設事業」について 		
決定又は 取決め事項	<p>次の意見を附して原案どおり了承した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上形態アンテナの色彩については、マンセル値N4～5とすること。 ・携帯アンテナ鉄塔の色彩については、マンセル値N6とすること。 ・「NHK新奈良放送会館 建設事業」について 屋外広告物については、建物名、誘導用サイン等の看板類の設置場所と大きさ等について明記し協議すること。また、NHKロゴマークの色彩については、色相も踏まえ景観配慮に最大限に務めること。 		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
事務局 部長	司会挨拶 挨拶		

<p>会長 事務局</p>	<p>それでは事務局の方から案件の説明をお願いします。</p> <p>それでは、平成 26 年 11 月 14 日に開催された第 38 回奈良市景観審議会の諮問案件の「薬師寺食堂復興事業」について、この 5 月に完成しましたので報告させていただきます。</p> <p>薬師寺食堂につきましては西の京 第一種風致地区、ゾーン 1 に該当し、高さの規制を超えましたのでご審議いただいたところでございます。文化庁の専門家委員会の審議においても当該建物の位置、規模等について十分な根拠があると認められており、高さについても同様であるとされており、当審議会においても原案どおり答申していただいたところです。</p> <p>さて完成写真を見ていただきます。北側の与楽門を通して北面が見えています。次に全体を映します南面です。そして南東から見た面、北西から見た面となります。</p> <p>室内には田淵俊夫画伯により食堂ご本尊「阿弥陀三尊浄土図」を中心に、全長 50メートルにわたり画壁「仏教伝来の道と薬師寺」が奉納されています。</p> <p>以上で薬師寺食堂復興事業の報告を終わります。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>続けて説明願います。</p> <p>次に奈良県コンベンション施設等整備事業のご説明の前に、前回事前協議について答申、通知文、届出の通知と事業者とのやり取りについてご説明しましたが、改めてそれをまとめましたのでご説明させていただきます。</p> <p>「一定規模以上の大規模建築物等に係る事前協議の流れ」についてですが、事業者と奈良市の関係を説明します。まず事業者の方が一定規模以上(25mを超える建築物、工作物)の計画があり、事前協議が必要となり、事業者は事前協議書の作成を行います。それを奈良市で受付を行い、「奈良市景観審議会」に諮問します。審議会が開催され、その意見が会長から市長へ答申されます。そしてこの答申の内容を受け、事業者に対して指導・助言の通知を行います。</p> <p>ここで、計画の修正が無い場合は問題ありませんので、景観法に基づく届出を行っていただきそれに対して市から通知文を出します。</p> <p>指導・助言により計画の修正(又具体的確認を含む)を行う場合は、会長、副会長、委員の皆様にご確認いただき問題なければ景観法の手続きへと進み、追って審議会に報告させていただきます。また、確認をいただき再審議の必要があるとなれば審議会を再度開きます。以上が事前協議の流れとなります。</p> <p>では、「奈良県コンベンション施設等整備事業」の報告をさせていただきます。答申につきましては、屋外広告物についての協議、樹木の土壌についての対策、また、緑地帯については、維持管理に努めること。としておりますが、委員の方々からご質問いた</p>

	<p>できました件につきまして報告させていただきます。</p> <p>まず一つは、南側の太陽光パネルの見え方がどうなのかという事につきましては、断面図にあります様に、前面三条通り逆側歩道の人の目線から見えない位置となっております。次に天平広場のバナーの色彩の最終決定につきましては、五色の天平文化の色彩を表した色となりました。最後に立面図で色彩について木部の部分が基準を超えているという件ですが、天平広場の天井部、庇の垂木につきましては、前回説明不足でしたが、基準の中で自然素材として木材を使うこと認めていますので、これは問題なしとなります。以上で奈良県コンベンション施設等整備事業の報告を終わります。</p>
会長	<p>今の報告で、何か質問はありませんか。</p>
事務局	<p>無いようなので、諮問案件に移ります。</p>
	<p>諮問案件1. 「マンション屋上携帯アンテナ設置事業①」について説明させていただきます。奈良市青野町で近鉄西大寺駅南の区画整理事業地内の既存のマンションの上にドコモの携帯アンテナを設置するもので、このあたりは今後新たに建物が建ち並ぶところであり、電波供給を強めるためにアンテナの設置を行う計画です。</p> <p>高さにつきましてはマンションの高さを含み31.5mとなり、事前協議の対象となります。アンテナの基礎として、屋上にベース3個が新しく設置されます。携帯アンテナにつきましては、マンション高23.84mの上に高さ7.66mのアンテナ部と0.8mの避雷針を設置します。なお、マンション屋上には、既設の避雷針、BSアンテナ、KDDIのアンテナ類があります。</p> <p>この場所は奈良市の眺望景観に影響を及ぼす位置ではありません。周辺からの見え方につきましては、まず近景ですが資料の位置図表示の5か所の場所から写真を撮り、のアンテナの設置のイメージを落とししています。中景の位置とそこから撮った写真から、ほとんどその場所からは隠れて見えない、遠くて見えないという状態です。</p> <p>別紙の景観シミュレーションの自己評価書についてですが、工作物ですので該当する部分は中景に限られてきていますが、基調色につきましてはグレー色でマンセル値はN6で計画されています。以上で1. 「マンション屋上携帯アンテナ設置事業①」についての説明を終わります。</p>
会長	<p>なぜ近景は無いのですか。</p>
事務局	<p>工作物なので、中景のみで検討しました。</p>
会長	<p>これは初めてなので、どうゆう検討方法にするかこれから考えた方がよいでしょう。それから写真に貼り付けるCGについては、図面と違うように見えます。CGの作り手が慣れてないようだが、これを信じてどう判断するかですね。</p>
北村委員	<p>色がマンセル値でN6の計画だが、単体では明るいのではないのでしょうか。塗装は、</p>

	<p>時間が経てば色落ちするので、N4～N5が良いのではないかと思います。N6で塗装すると将来N7（明るく）になってしまいます。</p>
<p>会長</p>	<p>塗装色については、マンセル値でN4～N5で計画するという事でよろしいでしょうか。それでは、次の諮問案件の説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、1. 「マンション屋上携帯アンテナ設置事業②」について説明させていただきます。先ほど同様マンション屋上の携帯アンテナ設置になります。設置場所は、奈良市富雄元町二丁目で近鉄富雄駅の南側になります。またマンションの屋上には、2機のアンテナを設置する計画となっています。これは北方向と南方向とに電波を供給する目的があります。高さにつきましては、マンションの高さ24.75mの上にアンテナと避雷針が載り総高さ31.8mになります。このマンションの屋上には、既に避雷針及びTVアンテナ(BSアンテナ)が設置されています。</p> <p>この場所は、奈良市の眺望景観に影響を及ぼす位置ではありません。景観シミュレーションの自己評価は、中景で検討しています。基調色につきましてはN6の計画となっています。以上で1. 「マンション屋上携帯アンテナ設置事業②」についての説明を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>色をマンセル値 N4～N5で指定しても問題ないですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>問題ないです。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、色をマンセル値 N4～N5の範囲としましょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>ほかに何か意見はありませんか。意見がありませんので、マンション屋上携帯アンテナ設置事業①及び②については、同じ方針とします。</p> <p>次にいきます。説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、2. 「携帯アンテナ鉄塔塗替え事業」について説明させていただきます。この案件につきましては、高さ40.9mの既存の携帯アンテナ鉄塔の塗替えとなっております。場所は、奈良市杏町です。前審議会において、東部山間における高圧・アンテナ鉄塔の建替え、新設については、眺望・景観に影響ないということで審議案件とはしませんでした。この場所は山間ではありませんので今回の景観審への諮問となりました。</p> <p>しかしながらこの場所も奈良市の眺望景観に影響を及ぼす位置ではありません。</p> <p>まず、近景、中景の写真を見ていただきます。写真撮影ポイントについて、鉄塔までの距離および方角は次のとおりです。東側250m、東側100m、西側100m、西側200m、北側300m、南西側200mです。この辺りは平地の里景観区域であり、田園地帯です。なお調整区域ですので建物も少なく、中景及び近景では、どこから見ても見通しがきくものとなっています。景観シミュレーション自己評価の内容については、基調色につき</p>

<p>会長</p>	<p>ましてはアイボリー又はグレー系をとっていますが、現在の色がマンセル値N6であり、計画についても同色のN6で検討されています。以上で2.「携帯アンテナ鉄塔塗替え事業」についての説明を終わります。</p> <p>今までと違って、周囲からよく見える塗替えなので、鉄塔の形がどうのこうのと言うのではなく、色についての検討ですね。</p> <p>周囲からよく見える場所での鉄塔については、色彩的にどう検討したら良いでしょうか。</p>
<p>北村委員</p>	<p>鉄塔の存在を消すことができないので、背景と合わせる方法にするのか、人の記憶に残らないようにするのなら現状と同じ色にする考え方もできる。</p> <p>空と合わせるとなると、だいぶ明るくなり、それはそれで違和感がでる。</p>
<p>会長</p>	<p>人の記憶に残らないとは、見慣れているからということですね。</p>
<p>北村委員</p>	<p>先ほど検討した市街地での塔の色と比べると暗いものは、どうかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>背景に山などがありますので、アイボリー色はやめて現状と同じマンセル値N6ではどうでしょうか。</p>
<p>北村委員</p>	<p>鉄塔等の色についての考え方は、個別案件として検討すればいいですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>鉄塔等については、設置場所や周辺環境など条件が異なりますので、個別で考えていきます。</p>
<p>会長</p>	<p>マンセル値N6以上での検討はどうでしょうか。</p>
<p>北村委員</p>	<p>マンセル値N7やN8は、良くない。最大N6まで</p>
<p>事務局</p>	<p>N6で塗装して、完了写真を撮り報告させていただきます。</p>
<p>松本委員</p>	<p>市街地に設置するものについては、ある程度色を合わせていかないとバラバラになるのは良くない。</p>
<p>会長</p>	<p>ここは、N6で塗替えをするということで、よろしいですか。</p> <p>それでは、次に移ります。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは3「NHK新奈良放送局会館 建設事業」についてご説明させていただきます。</p> <p>計画地は奈良市三条大路1丁目691番16他、敷地面積は3,417.16㎡、用途地域は商業、建ぺい率80%、容積率400%で、高度地区は25mです。</p> <p>次に「計画コンセプト」ですが、1300余年の歴史を持つ「古都・奈良」の天平文化を“世界”と“未来”へ伝える情報発信拠点としております。</p> <p>計画方針は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化の発信拠点：「古都・奈良」の魅力を日本はもちろん世界へ発信する拠点として、番組制作を行う環境の更新と充実を図る。

- ・地域に開かれた放送局「にぎわいと交流の拠点」として隣接街区事業との連帯を図り公共放送としてイベントを放送に結び付け、より地域に密着したサービスを提供。
- ・災害に強い放送局：県民の生命と財産を守るため、災害に強い放送局として、緊急災害報道の拠点として役割を果たします。

となっています。

次に「配置計画」のコンセプトは「気軽に訪れることのできる街に開かれた情報発信拠点」としています。

●街並みに対する圧迫感軽減への配慮

- ・建物は道路から十分に遠隔距離がとれる敷地北西に配置
- ・建物高層部は、北西側壁面へ後退し、街並みに対するボリューム感を軽減

●隣接街区との調和・連続性

- ・街区としてまとまりのある建物ボリュームとして、一体感を創出
- ・ハートプラザは、一体利用ができるよう隣接街区の天平広場に面して配置
- ・街区として調和のとれた緑の景観軸を形成
- ・屋上緑化による北側建物と一体感

●安心安全な歩行者・車両動線

- ・来館者は駅やバスターミナルからアクセスしやすい敷地北側に配置
- ・2本の道路に繋がる車両動線、歩車分離を図り、安全な歩行者動線を確保
- ・駐車場配置位置による、安全性の確保

を行っています。

次に「外構計画」になります。計画につきましては、隣接街区(奈良県コンベンション施設側)と連続する色調を合わせた舗装計画。隣接街区と樹種を合わせ、街区として一体的で調和のとれた植栽計画。ムクドリをはじめとした鳥害へ配慮した樹木高さ。また、屋上への緑化も行い、隣接と一体感のある緑化計画。となっております。

次に「景観計画」ですが、そのコンセプトは、天平建築を想起させる放送会館とし、天平文化の建築要素を取り入れた奈良に相応しい放送会館としております。

正倉院、唐招提寺をモチーフとして、

- ① 東大寺正倉院(校倉造り)想起させる外壁
- ② 水平強調のデザイン
- ③ 建物前面に整然と並ぶ独立柱の列柱。
- ④ 奥行きを感じさせる半屋外空間。
- ⑤ 天平文化の社寺仏閣に見られる藁の色調。
- ⑥ ガラス越しに見えるハートプラザの内装材に奈良県材を採用。

これら東大寺、正倉院のモチーフが、NHK奈良放送会館の計画に取り入れられています。

続きまして、鉄塔の高さ等について説明となります。鉄塔のコンセプトは、「日常から災害まで、TVやFMを通じて情報発信を可能とする放送アンテナ用鉄塔」となっています。

確実な情報発信を実現させるアンテナ計画ということで、鉄塔に設置されるアンテナの設置位置と鉄塔の高さの根拠について説明します。

放送所にプログラムを伝送する“放送所送りアンテナ”の設置高さは、総務省が定める「電波伝搬障害防止区域」の指定条件を満たすため、アンテナの中心高は地上4.5m以上が必要とされています。

4.5m以上に設置する放送所送りアンテナを向ける放送所は、西側に位置する生駒郡と生駒市の2か所であり現計画の3つの放送所送りアンテナ(2~3m)が重ならないように、鉄塔に三段のステージを設けて設置しています。そして最頂部に避雷針やお天気カメラを配置し、必要最小限の鉄塔の高さ(6.0m)としています。

なお、放送所送りアンテナの大きさ(アンテナ径)は、通信に用いる周波数帯や距離などの条件に基づき決定される。現計画は2~3mであるが、将来の更新等に配慮し直径3mのアンテナを設置するスペースを確保しています。

アンテナ設置必要最低寸法の4.05mにつきましては、パラボラアンテナの大きさが3mあり、またパラボラアンテナは遮蔽物が無く電波を伝送するためのフレネルゾーンが必要となり、各ステージがフレネルゾーンに干渉せず、かつ、アンテナの更新、メンテナンス可能な高さとして4.05mの階高が必要になります。

ステージにつきましても、避雷保護・メンテナンススペースに配慮した必要最低限寸法として、6.8m×6.8mで設定しています。

その他にも、設置高さについて周りの建築物が障害とならないよう高さ3.5m以上の高さが必要なアンテナと建物の屋上でも支障のないアンテナを区分して設置する計画としています。

南東の上空に位置する通信衛星からの電波を受信する“衛星受信アンテナ”は、南東上空に障害物のないスペースに設置する必要があり、南側3階の屋根に設置します。高さ及び幅を極力抑えた鉄塔を次のように計画しています。

- ・ステージの平面は、避雷保護、保守点検スペースを考慮した必要最低限の大きさ(6.8m)とする。

- ・鉄塔の柱は、ステージ外周より内側にとし、鉄塔自体が細く見えるように配慮する。

(なお、柱間3.6mにつきましては、真ん中にケーブルが走っておりそれを取り囲む形

で階段が設置されています。)

・他の放送会館(福島放送会館、鹿児島放送会館、京都放送会館)に比べシンプルでコンパクト(柱間について)な鉄塔を計画する。(また避雷針の保護エリアの考え方について他の放送局は旧JIS対応になっていますが、新奈良放送会館は新JIS対応となります。これは、旧JISは避雷針上部から傘状に保護しますが、新JISでは、回転球体法により避雷保護エリアを設定するという違いがあります。)

次に、現在鍋屋町にあるNHK奈良放送局と計画のNHK新奈良放送会館との高さを比較しますと見え高で新奈良放送会館のほうが7m高いのですが、これは現在の場所(鍋屋町)の方が計画地より海拔で25m高くなっているからです。

次に建物外壁の仕上げとその色彩についてですが、マンセル値N4.0~N6.5の間に収まっています。鉄塔につきましては、柱がスチールめっきの上ポリウレタン塗装となっており色彩はN5.0で、ステージはスチールめっきの上リン酸処理となっており色彩はN4.0となっています。

屋上設置の太陽光パネルですが、南側の三条通りから人間の目線でみても、太陽光パネルは見えません。また、東側の市道から人間の目線でみても、設備機器は見えない計画となっています。

引き続き、NHK新奈良放送会館 建設事業の景観シミュレーションで視点場からのアングルを見ていただきます。まず資料にあります遠景①②とありますが、これは奈良市眺望景観保全活用計画の重点眺望景観にあたります。

それでは、現況、近景、中景とシミュレーションを見ていただき、現況写真と比較していただきます。まず西ノ京・大池からのシミュレーションを見ていただきます。次に近景①、②は三条通りの東からの視点と西からの視点からのアングルとなります。中景①では、三条通りからの視点で西約700mの地点からになります。

次に中景②はJR奈良駅のロータリーデッキからとなりますが、ここからは建物の影になり見えません。次に中景③、三条通り興福寺南側からですがここからも建物、樹木の影になり見えません。次に中景④ですが市役所の東側からですが、ここからは見通せますが、北側にはホテルが建ちますので、上部しか見えなくなります。次に下の左側ですが中景⑤になりますが大宮通りの平城宮跡の前から、右側は中景⑥は計画地南側の県立図書情報館からですが、電柱電線等とかぶりますが見えてきます。

最後に、これは観光バス車内からの設定ということでの景観シミュレーションになります。(車内の視点高さは約3mと想定しているものです。)

景観シミュレーション自己評価書につきましては、今までにご説明させていただきました内容を中心に書かれています。

会長	<p>以上でNHK新奈良放送会館 建設事業の説明を終わります。</p> <p>不明な点や追加説明など要望はありませんか。</p> <p>資料にあります景観シミュレーションの視点場からのアングル位置図について、各視点からの距離を表示し、スケールを入れて欲しかった。</p>
松本委員	<p>NHK京都放送会館の鉄塔は、幅 4500mm の寸胴型で、NHK奈良放送会館の計画は、鉄塔の柱幅 3600mm となっていますが、鉄塔内の 3 段あるステージ幅が 6800mm あることから京都型の方がアンテナを内側に収められてスマートに感じます。また奈良の場合近景で見れば、押し掛かるようになり大きく見えるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>京都放送会館の場合は、奈良の計画と比べて高さのある建物の上に鉄塔を設置していますが、奈良の場合は 3 階建の放送会館の上に鉄塔を設置しますので、京都の様に幅を持たせた鉄塔にすると大きく感じさせます。</p> <p>また避雷針の保護エリアの考え方で京都放送会館は旧 J I S 対応になっていますが、新奈良放送会館は新 J I S 対応となり、回転球体法により避雷保護エリアを設定するのに鉄塔内のステージの外側の端点を結んでアンテナの保護を計画しています。また鉄塔柱の内側にアンテナを配置すると鉄塔が遮蔽物となり支障が生じます。</p>
山本委員	<p>鉄塔にある 3 段のステージは、興福寺の五重塔の屋根の上部にある相輪に見えないこともないと思います。</p>
会長	<p>この鉄塔の計画は、京都放送会館より細く見えると思います。</p>
鳶川委員	<p>そもそも論になるが、これまで先に「ホテル」、「コンベンション施設」を審議し、敷地周囲の植栽計画などの審議もして、最後に放送アンテナの鉄塔のあるNHKの審議をやることに違和感があります。景観審議会にこの計画で諮問されたところで、ダメだと言うこともできない。この場所で計画しなければならいのかの議論が抜けている。</p>
事務局	<p>NHKがどの場所に放送会館を建設するのかは、この場所に決定した後、奈良市に連絡がきました。</p> <p>できるだけより景観に影響の少ないものにしたいということで、審議会に諮問しています。このことをご承知いただきたい。</p>
鳶川委員	<p>外壁に設置するNHKのマークについて、白地に赤文字は、明らかに周りの建物にそぐわない、可能ならば変えた方が良いでしょう。</p>
事務局	<p>色相は変えられませんが、彩度・明度を検討します。</p>
東委員	<p>鉄塔の内部にある階段の仕上はどうなっていますか。（階段裏面も含めて）</p>
事務局	<p>すべてスチールめっきの上ポリウレタン塗装で、マンセル値はN 5. 0 程度です。</p>
倉橋委員	<p>NHKの番組のポスターなど掲示されると想いますが、どこに掲示しますか。</p>
事務局	<p>建物の壁面に掲示する予定はありません。緑地帯部分に設置する掲示スペースのガラ</p>

	<p>ス面に掲示する計画です。</p>
北村委員	<p>放送会館は24時間使用するものだと思いますが、建物から光が漏れることがありますか。</p>
事務局	<p>1階は、防犯照明が考えられます。2階では、放送関連の夜間業務において光が漏れることがあります。</p>
会長	<p>サインについて課題として残りますが、その他に意見はありませんか。</p>
室崎委員	<p>難しいかもしれませんが、いくつかの事業者がそれぞれ計画されて、個々の計画をバラバラに審議してきたが、それぞれの事業を全体で審議したかったと思います。</p> <p>今後、景観に与える影響が大きいものについては、全体で審議することを希望します。</p>
会長	<p>おっしゃる事は、よくわかります。</p> <p>事務局側も大きな開発の場合、景観の立場から事前検討をできるように努力して欲しい。</p>
	<p>諮問に対する答申内容ですが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1. マンション屋上携帯アンテナ設置事業についてですが、色をマンセル値N4～N5とする。 ・ 2. 携帯アンテナ鉄塔塗替えについては、色をマンセル値N6とし事業完了後に状態の確認をする。 ・ 3. NHK新奈良放送会館については、ロゴマークについて景観に配慮するよう努力すること。また、鉄塔などは、なるべく早い段階で調整し、審議させて欲しいことを審議会として要望します。 <p>この内容でよろしいでしょうか。</p> <p>これで審議を終わります。</p>